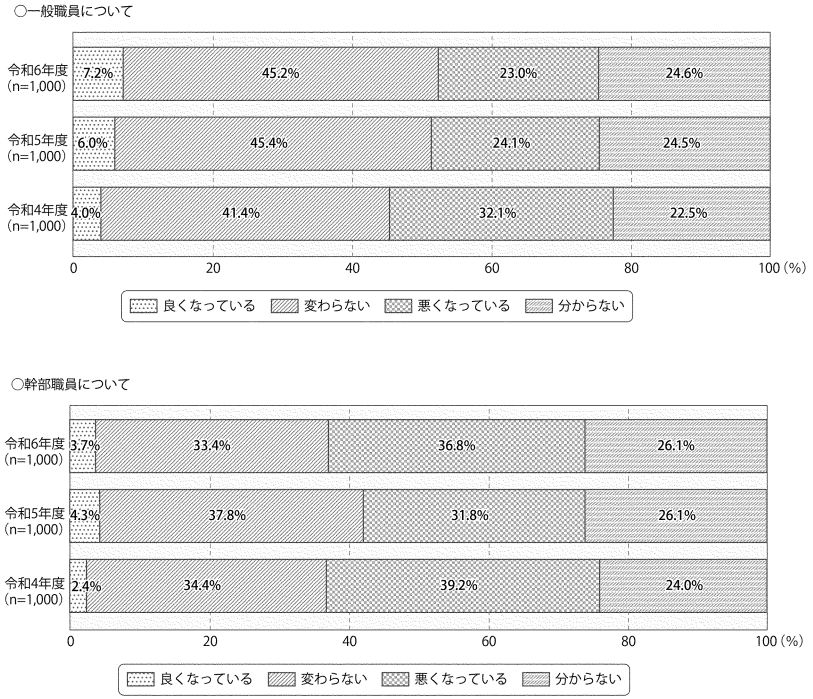
ウ　近年の一般職の国家公務員の職務に係る倫理の保持の状況についての印象（市民アンケート）［図１－３］

市民アンケートにおける「近年の一般職の国家公務員の職務に係る倫理の保持の状況」を問う設問の回答結果について、直近３年間を見ると、一般職員については「良くなっている」と回答した割合は平均5.7％であり、その増減幅は±3.2ポイントであった。「変わらない」と回答した割合は平均44.0％であり、その増減幅は±４ポイントであった。「悪くなっている」と回答した割合は平均26.4％であり、増減幅は±9.1ポイントであった。幹部職員については「良くなっている」と回答した割合は平均3.5％であり、その増減幅は±1.9ポイントであった。「変わらない」と回答した割合は平均35.2％であり、その増減幅は±4.4ポイントであった。「悪くなっている」と回答した割合は平均35.9％であり、増減幅は±7.4ポイントであった。

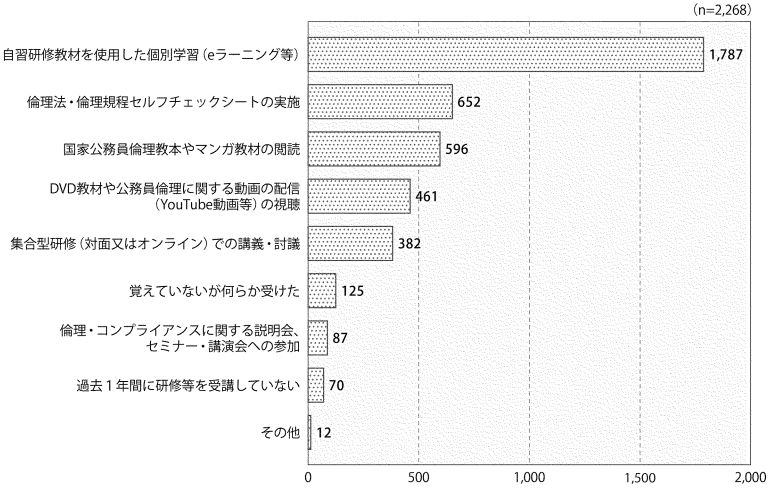
図1-3　**近年の一般職の国家公務員の職務に係る倫理の保持の状況をどのように思いますか。**



エ　倫理に関する研修の受講状況（職員アンケート）［図１－４］

職員アンケートにおける「過去１年間に受けた公務員倫理に関する研修等の種類」を問う設問の回答結果について、令和６年度は、「自習研修教材を使用した個別学習（ｅラーニング等）」を選択した回答者が最も多い結果となった。

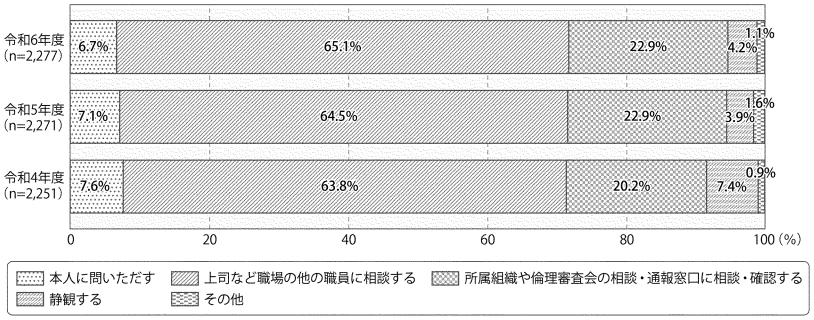
図1-4　**過去１年間に受けた公務員倫理に関する研修等は次のうちいずれでしょうか。（複数回答。出向、休業、長期研修などで所属機関を離れていたために受けていない場合は「過去１年間に研修等を受講していない」を選択。）**



オ　違反行為を見聞きした場合の行動（職員アンケート）［図１－５］

職員アンケートにおける「同僚が倫理法・倫理規程に違反すると疑われる行為を行ったことを、もし、見聞きした場合に、どのように行動するか」を問う設問の回答結果について、直近３年間を見ると、「本人に問いただす」、「上司など職場の他の職員に相談する」又は「所属組織や倫理審査会の相談・通報窓口に相談・確認する」と回答した割合は平均93.6％（令和６年度は94.7％）であった。

図1-5　**あなたの同僚が倫理法・倫理規程に違反すると疑われる行為を行ったことを、もし、あなたが見聞きした場合に、どのように行動しますか。**



カ　違反行為を見聞きした場合に静観する理由（職員アンケート）［図１－６］、［図１－７］

オの設問に対し「静観する」と回答した者に対し、「上司など職場の他の職員に相談する」又は「所属組織や倫理審査会の相談・通報窓口に相談・確認する」を選択しなかった理由を尋ねたところ、例年同様、いずれも「同僚が違反行為をしていなかった場合に、本人や職場の他の職員に迷惑がかかるおそれがある」を選択した回答者が最も多かった。